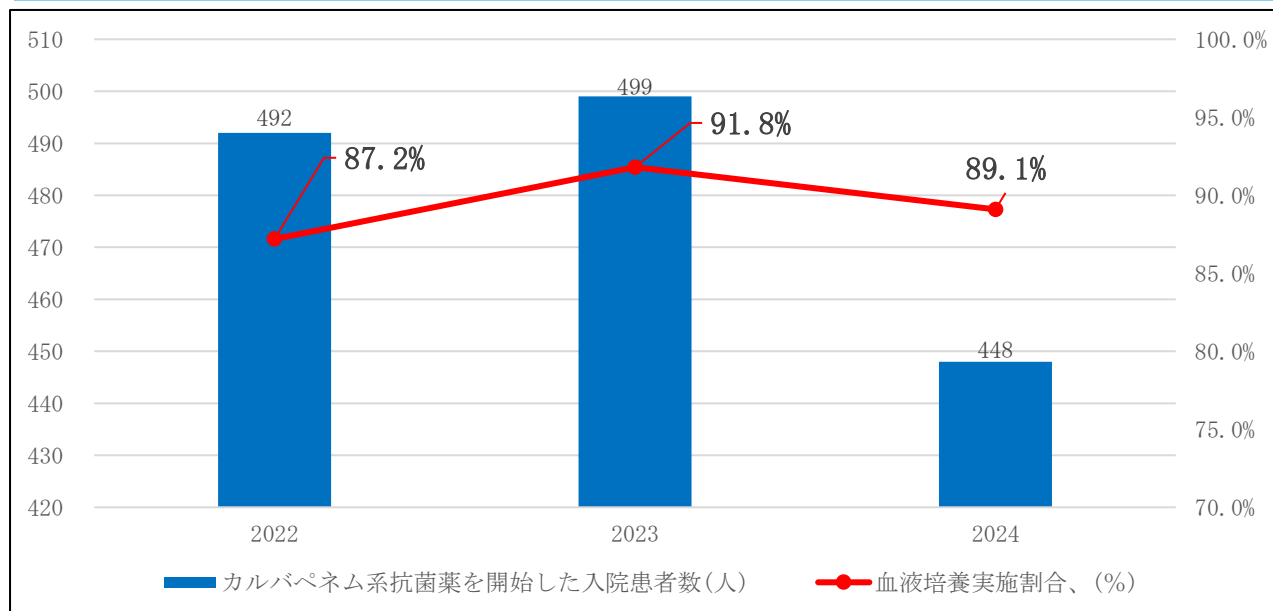


□感染管理

カルバペネム薬使用時の血液培養実施率



➤ 指標の説明

カルバペネム系抗菌薬は、きわめて広い抗菌スペクトルを持つ広域抗菌薬です。一方、細菌には同じ抗菌薬を使用し続けると効かなくなる性質（耐性）があります。カルバペネム系抗菌薬を必要以上に使用し続けると、抗菌薬が効かない耐性菌が増え、感染症治療が困難になります。そのため適切な治療を行うには、原因菌を特定するための血液培養が必須のプロセスとされています。

➤ 定義

分子：分母のうち、カルバペネム系抗菌薬を投与する初日に血液培養検査を実施した患者数

分母：カルバペネム系抗菌薬を開始した入院患者数

➤ 評価

本指標では血液培養実施率が高い程、抗菌薬適正使用への意識が高い病院であると評価することができます。当院では2023年91.8%、2024年89.1%と全国的にも高い数値であり、血液培養結果に基づきより狭いスペクトルの抗菌薬への変更を実施することができました。

尚、2024年カルバペネム系抗菌薬を開始した入院患者数が減少した原因としては、2024年7月から9月にかけて、全国的な血液培養ボトル欠品により検査可能患者を限定したことが原因となります。